



未来を夢見て

2020/9/3 No. 32

ともだちは いいもんだ

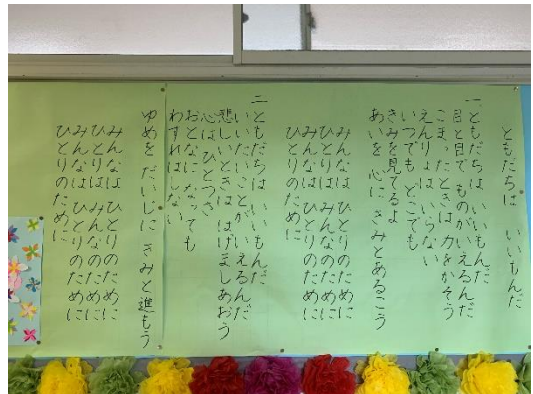
校長室前の掲示版の歌が「学校坂道」から「ともだちはいいもんだ」に変わりました。

小野小学校の先生方にはお馴染みの曲とは存じますが、この曲、劇団四季のミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」の挿入歌でもあります。三浦哲郎氏の同名小説を舞台化したこの物語は、東京から東北の農村にやってきた転校生ユタと、彼を見守る「座敷わらし」たちとの心の交流を描いています。

時々教室からこの曲が流れているのが聞こえますが、まだ歌うことは「解禁」になっていません。子供たちも聞くだけではそろそろ消化不良を起こしそうです。昨日、臨時で集まっていた学年主任の先生方の会でも「そろそろ歌を・・・」という声が続いたそうです。そこで、もう一度「衛生管理マニュアル」や全日本合唱連盟で作成している「ガイドライン」を参考に、音楽活動の再開について考えてみました。細部は音楽部の先生方のお力をお借りすることになりますが、小野小学校に子供たちの歌声が戻ってくるのはとてもよいことです。

先日、もみじ学級さんで、英語の授業を見せていただきました。ビンゴゲームを通して、野菜や色について楽しく学習していました。「ビンゴ！」で歓声上がる一方、オルシ先生の声に静かに耳を傾ける様子に感心しました。授業では静と動、緩と急などのメリハリが大切であることを感じました。

さて、例年より短い夏休みではありましたが8名の先生方に論文に取り組んでいただきました。例年たくさん先生方が自発的に論文の執筆に取り組んでいるとのことで、正直驚きました。論文はこれから校内でも回覧していただけたらとのでしたので、タイトルだけ紹介させていただきます。これだけ見てもいかに先生方が高い意識をもって日々の授業作りに取り組んでこられたかが分かります。そして、だから小野小学校の子供たちが育っていることも実感しました。論文執筆にあたっていただいた先生方お疲れ様でした。



【学校部門】

- ・読み取る力を育てる国語科指導（第2年次）
～場面を意識して読ませる文学的文章の指導を通して～

【個人部門】

- ・特別支援学級での体育科・自立活動における体力向上と体幹を鍛える運動の指導の手立てについて（「小野小リズムミック運動」を活用した実践指導の取組を通して）
- ・特別支援学級における外国語活動
～朝の活動の時間を利用した取組～
- ・学校教育相談の視点に立った「ことばの教室」の在り方
（多角的な視点から行う指導や教室運営の一考察）
- ・自分の考えをもち、表現する力を育む国語科の指導
（文学的文章において、場面の様子に着目して考える活動を通して）
- ・叙述に基づく自分の考えを伝え合い、深めることのできる児童の育成
～国語科の文学的文章におけるグループ活動の工夫を通して～
- ・コロナ禍の算数指導 ～交流のさせ方を工夫する～
- ・地域の自動車工業を扱った社会科学習の一試み
～5年「自動車をつくる地域の工業」の進め方～